

社団法人 日本物理学会 2009年度事業報告書

事業期間:2009年1月1日 - 2009年12月31日

報告項目

1. 事業の概要 (pp.1-4)	2. 処務の関係 (pp.4-5)
1-1. 学術的会合	2-1. 総会・役員に関する事項
1-2. 国際会議・協力	2-2. 契約・入札・他に関する事項
1-3. 企画・国内会議・他	3. 会員の異動状況 (p.5)
1-4. 刊行物	4. 参考データ (pp.5-7)

1. 事業の概要

1-1. 学術的会合

1-1-1. 第64回年次大会関係

- 会期:3月27日(金)~30日(月)
- 会場:立教学院池袋キャンパス(立教大学、立教池袋中学・高校 - 東京都豊島区西池袋3-34-1)
- 参加登録者数:5,890名
会員 5,589名(一般 3,684名 学生 1,905名)
非会員 301名(一般 97名 学生 204名)
- 講演数:3,945件
内訳:原著講演 3,695件 シンポジウム講演 216件
招待・企画講演 27件 レビューセッション 6件

【レビューセッション】

- 期日:2009年3月29日(日) 9:30~11:45

【3会場同時進行】

<タッカーホール(QA会場)>

1. 「Higgs粒子と超対称性粒子の実験的な話」
駒宮幸男(東京大学大学院理学系研究科)
2. 「ナノチューブ、グラフェンの物理」
安藤恒也(東京工業大学大学院理工学研究科)

<8101(XA会場)>

1. 「GMR(巨大磁気抵抗効果)からTMR(トンネル磁気抵抗効果)へ」
前川禎通(東北大学金属材料研究所)
2. 「クォークマター: 極限状態における物質の構造」
初田哲男(東京大学大学院理学系研究科)

<AB01(ZA会場)>

1. 「表面・ナノ物質の科学: 創る・観る・測る」
高柳邦夫(東京工業大学大学院理工学研究科)
2. 「近藤効果の系譜 - 重い電子系と量子ドット」

【第5回 Jr.セッション(主に高校生による講演発表会)】

- 会期:3月28日(土)9:20~17:00
- 会場:立教池袋中学・高校 5F講堂
- 参加者数:約200名(うち高校生約120名)
- 発表件数:口頭17件
- 表彰件数:最優秀賞1件 優秀賞2件 奨励賞5件
他に、2008年度ノーベル物理学賞受賞者の益川敏英先生による高校生との交流会も実施。

- 託児室
会期中に設置し、9家族、11名(延べ22名)の利用があった。

1-1-2. 秋季大会

【素粒子・宇宙線・宇宙物理領域関係大会】

- 会期:9月10日(木)~13日(日)
- 会場:甲南大学岡本キャンパス(神戸市東灘区岡本8-9-1)
- 参加登録者数:830名
内訳:会員 793名(一般 516名 学生 277名)
非会員 37名(一般 11名 学生 26名)

- 講演数:561件
内訳:原著講演 521件 シンポジウム講演 30件
招待・企画講演 10件

- 託児室
1家族、1名(延べ4名)の利用があった。

【核物理関係大会】

(米国物理学会核物理分科との合同開催)

- 会期:10月13日(火)~17日(土)
- 会場:ヒルトン・ワイコロアリゾート(アメリカ・ハワイ州ハワイ島)
- 参加登録者数:1,025名
- 講演数:849件
内訳:原著講演 683件、プレナリー 4件、
招待講演 24件、ワークショップおよびキーノート
講演 138件

【物性関係を含む上記以外の大会】

- 会期:9月25日(金)~28日(月)
- 会場:熊本大学黒髪キャンパス(熊本市黒髪2-39-1)
- 参加登録者数:4,030名
内訳:会員 3,891名(一般 2,396名 学生 1,495名)
非会員 139名(一般 45名 学生 91名)
- 講演数:3,710件
内訳:原著講演 3,849件、シンポジウム講演 147件
招待・企画講演 14件

- 託児室
3家族5名(延べ14名)の利用があった。

1-2. 国際会議・協力

1-2-1. 素粒子物理学における測定器技術に関する国際会議

- 主催:International Union of Pure and Applied Physics(IUPAP)
- 会期:3月12日(木)~17日(火)
- 場所:つくば国際会議場(茨城県つくば市竹園)

- 本会代表運営委員:小松原 健(KEK)
- 参加者数:430名

1-2-2. 2009年K中間子国際会議

(2009 Kaon International Conference (KAON09))

- 主催:KAON09組織委員会
- 会期:6月9日(火)~12日(金)
- 場所:高エネルギー加速器研究機構セミナーホール(茨城県つくば市大穂)
- 本会代表運営委員:小松原健(KEK)
- 参加者数:70名

1-2-3. 戸塚洋二先生追悼シンポジウム「ニュートリノ、素粒子、そして天体粒子物理学」

- 主催:東京大学、東京大学宇宙線研究所
- 会期:6月9日(火)
- 場所:東京大学安田講堂(東京都文京区本郷)
- 本会代表運営委員:瀧田正人(東大宇宙線研)
- 参加者数:201名

1-2-4. 第9回超伝導国際会議 M2S-IX

- 主催:日本学術会議、国際純粋・応用物理学連合(IUPAP)
- 会期:9月7日(月)~12日(土)
- 場所:新宿京王プラザホテル(東京都新宿区西新宿)
- 本会代表運営委員:広井善二(東大物性研)
- 参加者数:950名

なお、上記4件の国際会議を共催した他に、29件の国際会議の協賛・後援を行った。

1-2-5. 国際交流・協力

国際交流・協力として、次のような事業を行った。

- AAPPS(アジア・太平洋物理学会連合)の加盟学会として活動支援(機関誌AAPPS Bulletinの刊行援助、等)
- ASPEN(Asian Physics Education Network)への協力
- 開発途上国からの投稿者へのJPSJ別刷代援助
- 開発途上国等へのJPSJの寄贈
- IUPAP(International Union of Pure and Applied Physics)への協力(IUPAPのWomen in Physicsへの協力)
- ASEPS(アジア・ヨーロッパ物理学サミット)への協力

1-3. 企画・国内会議・他

1-3-1. 科学セミナー

- セミナー名:環境・エネルギー問題へ発信する基礎科学
- 会期:8月22日(土)~23日(日)
- 会場:東京大学駒場キャンパス18号館ホール(東京都目黒区駒場3-8-1)
- 演題:10題
- 聴講料:無料
- 聴講者数:1日目138名、2日目114名

1-3-2. 公開講座

主に高校生、ほか一般市民等を対象に次の2件の公開講座(聴講無料)を開催した。なお、本年度は文部科学省からの科学研究費補助金研究成果公開促進費「研究成果公開発表(B)」は大阪支部企画のみ採択された。

【理事会企画】

- テーマ:暗黒の宇宙を探る
- 演題:3題
- 会期:11月7日(土)13:00~17:00

- 場所:東京大学大学院数理科学研究科大講義室(東京都目黒区駒場3-8-1)
- 参加者数:162名(中学生9名、高校生12名、大学生21名、高校の先生14名、他106名)

【大阪支部企画】

- テーマ:素粒子の対称性の破れ
ーノーベル物理学賞受賞を記念してー
- 演題:4題
- 会期:11月23日(月、祝)13:00~17:30
- 場所:大阪府立大学Uホール白鷺(大阪府堺市中区学園町1-1)
- 参加者数:950名

1-3-3. 年次大会・秋季大会併設市民向け講演会:

【ノーベル物理学賞受賞記念講演会】

サイエンスへの限りない好奇心

- 場所:立教大学タッカーホール(他にサテライト会場として、映像・音声提供可能な11号館AB01教室を使用)
- 期日:3月29日(日)14:00~16:45
- 参加者数:約1,000名(サテライト会場約200名)
- プログラム:
司会:日本物理学会副会長 大貫惇睦
- 1. 挨拶
 - ◇日本物理学会会長 二宮正夫
 - ◇日本学術会議会長 金澤一郎
 - ◇立教大学総長 大橋英五
- 2. 解説
(益川先生と小林先生の研究と素粒子物理学の歴史的歩み)
 - ◇「素粒子物理学の歩み 理論的見地から」東島清(大阪大学大学院理学研究科長)
 - ◇「素粒子物理学の歩み 実験的見地から」高崎史彦(KEK素粒子原子核研究所長)
- 3. 祝辞
 - ◇江崎玲於奈(1973年ノーベル物理学賞受賞者)
 - ◇小柴昌俊(2002年ノーベル物理学賞受賞者)
- 4. 2008年度ノーベル物理学賞受賞記念講演
 - ◇「1970年代:混沌から収束へ」益川敏英
 - ◇「対称性とその破れ」小林誠

【市民科学講演会(1)】

- 講演テーマ
「21世紀の科学」佐藤文隆(甲南大):
「現代社会の中の科学」益川敏英(京産大):
- 会期:9月13日(日)午後
- 場所:甲南大学講堂兼体育館
- 参加者数:約1,500名

【市民科学講演会(2)】

- 講演テーマ
「観ることから科学は始まる
ーカーボンナノチューブの発見」
飯島澄男(名城大、産総研、NEC)
「あらゆるシーンで活躍する基礎科学
ー物理の視点から」
鹿兒島誠一(明治大):
- 会期:9月27日(日)午後
- 場所:崇城大学市民ホール(熊本市市民会館)大会議室
- 参加者数:約180名

1-3-4. 第14回論文賞の表彰

JPSJおよびPTPに掲載された論文の中から、優れた論文

5 篇を選び表彰した。

1-3-5. 国内会議

151 件の国内会議の共催・協賛・後援を行なった。

1-3-6. キャリア支援センター

文部科学省が公募した「科学技術関係人材のキャリアパス多様化促進事業」に応募し採択された事業名「物理学の資質を持つ人材活用のためのキャリアパス開発全国展開」については、本会内に設置した標記支援センターを中心に東京大学、金沢大学、お茶の水女子大学、神戸大学大学院人間発達環境学研究科、立教大学の 5 つの機関と連携して事業を遂行した。

1-3-7. 協力活動

- (1) 物理チャレンジ・オリンピック日本委員会主催の「物理チャレンジ 2009」を共催し、運営に協力した。
- (2) 物理教育・理科教育、JABEE、男女共同参画、研究者の研究環境、等に関する活動
 - 「理数系学会教育問題連絡協議会」への参加・協力
 - 「日本技術者教育認定機構(JABEE)」関係
 - 物理・応用物理学関連分野での協力
 - 男女共同参画関係
 - 男女共同参画学協会連絡会への参加・協力
 - 研究費配分に関する研究環境関係
 - 会員および大学附属図書館等へのアンケート調査のまとめと報告
- (3) 日本学術会議および文部科学省等への協力活動への協力を行った。

1-3-8. 本会パンフレットの作成

本会会員 3 名(南部陽一郎、小林誠、益川敏英)の 2008 年度ノーベル物理学賞受賞を記念して、本会パンフレットを作成した。なお、本パンフレットは定期的に更新を予定。

1-3-9. 物理系学術誌刊行センター(IPAP)

本会と応用物理学会とが協同して運営を行った。

1-3-10. 支部活動

- 支部委員長懇談会(新公益法人化へ向けての説明会)
9 月 26 日、熊本大学の物性関係秋季大会会場にて各支部から委員長または代理の方が出席し開催した。
- 支部例会、支部特別企画等
本会の 10 支部において、例会、特別企画等の会合を開催した。

1-3-11. 情報・資料公開

- 電子化・ホームページ関係
ホームページによる情報公開を行った。
- 図書雑誌および物理学史資料の供覧
本会所蔵の図書・雑誌、物理学史資料を会員の利用に供した。

1-3-12. その他

【国立科学博物館、日本物理教育学会との共催事業】

「自然の不思議 ー物理教室ー」

- 共同主催：日本物理学会、国立科学博物館、日本物理教育学会
- 会期：5 月 16 日(土)、5 月 30 日(土)、7 月 11 日(土)、7 月 25 日(土)、8 月 29 日(土)
- 場所：国立科学博物館 上野新館(東京都台東区)
- 主な対象者は小学 5、6 年・中学生で、毎回 15～20 名前後の応募があった。

【世田谷区への協力事業】

「世田谷区中学生講座」

- 主催：世田谷区教育委員会
- 企画協力：日本物理学会
- 会期・場所：7 月 27 日(月)～28 日(火)
1 泊 2 日(つくば市内研究施設)
12 月 19 日(土)(北沢タウンホール)

なお、主な対象者は世田谷区内の公立中学生で、毎回 10 名～30 名前後の応募があった。

1-4. 刊行物

1-4-1. 日本物理学会誌

第 64 巻第 1 号～12 号

	年度総数	月平均	月予算
ページ数	1,208	100.7	120
刊行部数	211,800	17,650	18,000

- ほかに年次大会・秋季大会のプログラムとして 3 月増刊号 135 ページ(本文)18,680 部と 8 月増刊号 131 ページ(本文)18,040 部を刊行した。

1-4-2. Journal of the Physical Society of Japan (JPSJ)

- Vol.78 No.1～13 の 13 冊(No.13 は Volume Index)を刊行した。A4 判冊子及び電子版。

(Index 含まず)	年度総数	月平均	月予算
ページ数	3,149	262	264
冊子刊行部数	10,440	870	900

- 掲載論文：本論文 343 Letters 152 Short Notes 26 Addenda 1 Comments 0 Errata 10 Invited Review Papers 4 Special Topics 11
- 電子版での年間論文総ダウンロード数 356,879

1-4-3. 講演概要集 (A4 判)

- 第 64 回年次大会(第 64 巻第 1 号)

分冊	刊行部数	本文ページ数
1	450	128
2	1200	298
3	1300	252
4	1350	316

- 2009 年秋季大会(第 64 巻第 2 号)

分冊	刊行部数	本文ページ数
1	400	48
2	1200	268
3	1300	256
4	1400	326

1-4-4. 大学の物理教育 (B5 判)

第 15 巻 1～3 号(3 月、7 月、11 月)を刊行

総ページ数	1 号平均ページ数	1 号平均刊行部数
160	約 53 ページ	約 1,833 部

1-4-5. 公開講座テキスト (B5 判)

- 11 月に開催した理事会企画公開講座「暗黒の宇宙を探る」のテキスト 48 ページ 400 部刊行
- 11 月に開催した大阪支部企画公開シンポジウム「素粒子の対称性の破れ ーノーベル物理学賞受賞を記念してー」の講演パンフレットを参加者に配布

1-4-6. JPSJ のサプリメント

Supplement A to Vol.78 (2009)

1-4-7. Progress of Theoretical Physics (PTP)

本会との共同により理論物理学刊行会が Vol.121 Nos.1~6、Vol.122 Nos.1~6 を刊行した。

- B5 判、月刊

	年度総数	月平均	月予算
ページ数	3,078	257	200
刊行部数	9,330	778	800

- 掲載論文数:本論文 136 Letters 19
なお上記のほか Supplement Nos.177~182 の 6 冊 (総頁数 約 1,328)を刊行した。(ただし、Supplement No. 182 は、2009 年度刊行物だが、出版は 3 月予定)

2. 処務の関係

2-1. 総会・役員に関する事項

2-1-1. 総会

● **第 85 回通常総会**

3月27日(金)17:30~18:25、立教大学池袋キャンパス 12 号館地下第一、第二会議室で開催した。2008 年度事業報告書(会員の異動状況報告書を含む)・収支決算報告書、2009 年度事業計画書・収支予算書が原案通り承認された。また、第 66 期会長(永宮正治氏)、第 65 期~66 期の理事、監事、代議員を選出し、他に名誉会員(小林誠氏、南部陽一郎氏、益川敏英氏)の推薦も原案通り承認された。

2-1-2. 理事会

下記期日に開催した。

開催番号	開催期日	開催番号	開催期日
第 505 回	1 月 10 日	第 511 回	7 月 11 日
第 506 回	2 月 7 日	第 512 回	8 月 21 日
第 507 回	3 月 7 日	第 513 回	9 月 5 日
第 508 回	4 月 11 日	第 514 回	10 月 10 日
第 509 回	5 月 9 日	第 515 回	11 月 14 日
第 510 回	6 月 13 日	第 516 回	12 月 12 日

● **新公益法人化への対応について**

2008 年 12 月に新公益法人制度が施行され、本会でもワーキンググループでの検討等を重ねた結果、移行期間の 5 年以内に、一般社団法人へ移行する方針とした。

- **理論物理学刊行会 PTP 出版事業本会移行について**
本会および PTP 関係者と協議を重ね、2013 年 4 月を目途に移行することとした。

2-1-3. 委員会(開催日)

● **会誌編集委員会**

1月24日 2月21日 3月14日 4月18日 5月16日
6月20日 7月18日 8月19日 9月19日 10月24日
11月28日 12月19日

● **JPSJ 編集委員会**

1月15日 2月13日 3月12日 4月14日 5月18日
6月18日 7月16日 8月17日 9月18日 10月15日
11月13日 12月14日

● **刊行委員会**

● **国内誌の OA 化検討分科会**

1月22日 2月20日 4月2日 6月12日

● **JPSJ・PTP 統合問題検討 WG**

2月24日

● **新欧文誌刊行準備 WG**

10月14日

● **学術誌 WG**

12月4日

● **PTP 会合**

7月25日

● **学術誌刊行センターに関する打ち合わせ**

10月23日

● **JPSJ 専任編集委員選考委員会**

4月3日

● **受賞候補等推薦委員会**

1月23日 7月9日 9月17日

● **論文賞選考委員会**

2月5日

● **物理学史資料委員会**

3月17日 7月24日 11月11日

● **物理教育委員会**

3月5日 4月25日 7月4日 8月25日 10月3日

12月25日

● **大学の物理教育編集委員会**

1月17日 2月7日 2月21日 5月16日 6月6日

6月20日 9月12日 10月10日 10月24日

● **広報委員会**

(開催せず)

● **JABEE 委員会**

3月7日 7月4日 10月13日

● **男女共同参画推進委員会**

4月4日 8月29日 11月21日

● **情報システム運用委員会**

(開催せず)

● **領域委員会**

5月27日 11月25日

● **事務局運営委員会**

3月17日 4月10日 10月28日

● **Jr.セッション委員会**

2月9日

● **物理人材活用委員会**

2月14日 4月18日 12月14日

● **キャリア支援センター運営会**

1月16日 4月22日 7月17日 10月6日 12月14日

● **研究費配分に関する研究環境検討委員会**

3月29日

2-2. 契約・入札・他に関する事項

● **契約に関する事項**

契約月日	相手方	契約の種類	期間
1月1日	公認会計士 野田弘子	監査契約	1年
4月1日	(株)日立情報システムズ	計算機・ネットワークの運用管理作業保守	1年
4月1日	エプソン販売(株)	会計ソフト保守	1年
6月1日	小谷野公認会計事務所	顧問契約	1年
7月1日	(株)パソナソーシング	人材紹介手数料	1年

- 入札に関する事項(なし)
- 許可、認可および承認に関する事項(なし)

- 文部科学省による実地検査(3年に1回)
5月20日

3. 会員の異動状況

会員種別	会員数		増減
	2008/12/31	2009/12/31	
正会員	17,063 ¹⁾	17,039 ²⁾	-24
学生会員	106	113	+7
賛助会員	93(348口)	94(307口)	+1(-41口)
特別会員	919 ³⁾	892 ⁴⁾	-27
計	18,181	18,138	-43

¹⁾うち名誉会員 3、シニア会員 415、大学院生で学生会員会費適用者 2,490

²⁾うち名誉会員 6、シニア会員 435、大学院生で学生会員会費適用者 2,568

³⁾会誌: 国内 282 国外 4、JPSJ: 国内 189 国外 444

⁴⁾会誌: 国内 277 国外 4

JPSJ: 国内 186(オンライン版のみ 3、プラス冊子版 183)

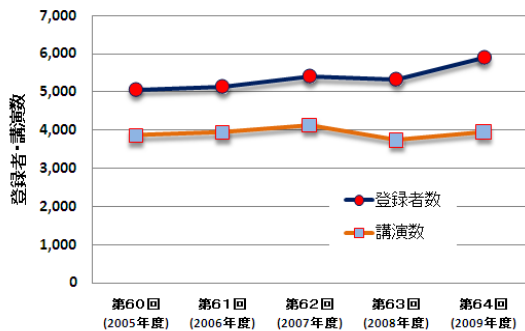
国外 425(オンライン版のみ 0、プラス冊子版 425)

4. 参考データ

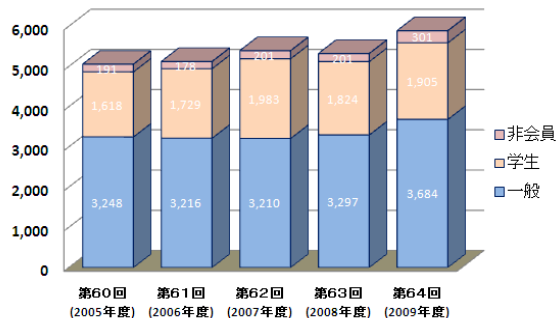
4-1. 学術的会合関連データ

4-1-1. 年次大会

年次大会事業実績



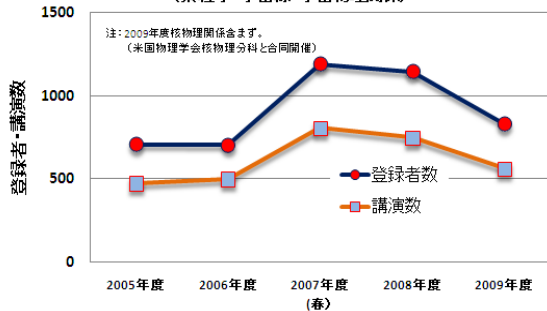
参加登録者内訳(年次大会)



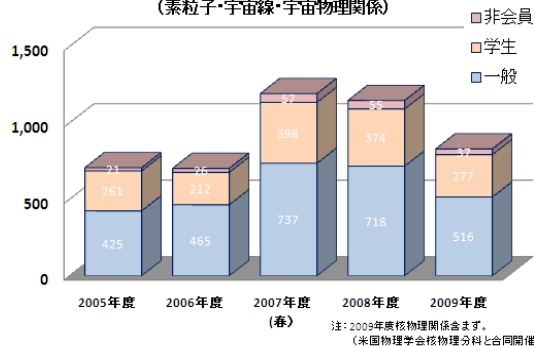
4-1-2. 秋季大会

- (素粒子・核物理・宇宙線・宇宙物理関係)

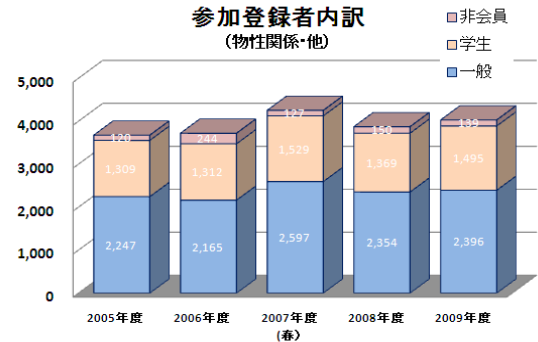
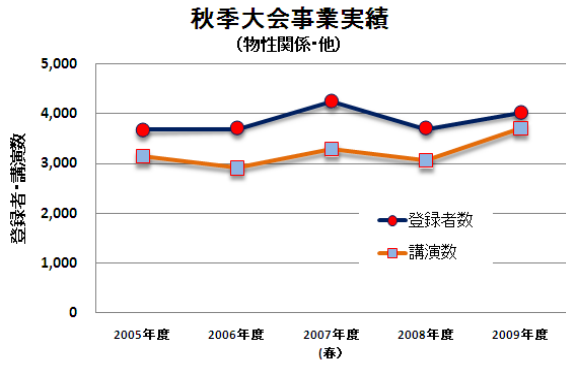
秋季大会事業実績
(素粒子・宇宙線・宇宙物理関係)



参加登録者内訳
(素粒子・宇宙線・宇宙物理関係)



● (物性・他)



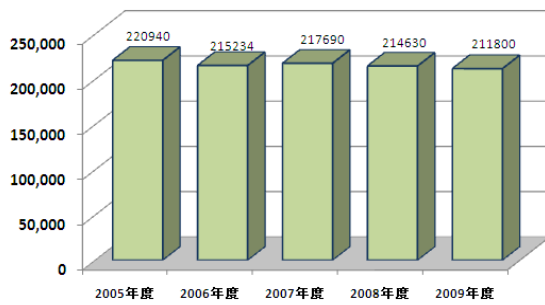
4-2. 企画事業関連データ

国内会議開催一覧

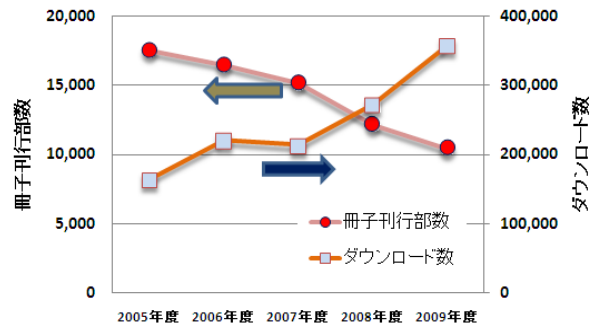
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度
市民科学講演会	年次大会	3月26日: 東京理科大学	3月25日: 愛媛大学	9月22日: 北海道	3月22日: 近畿大学	3月29日: 立教大学
	秋季大会	9月11日: 大阪市立大学 9月15日: 同志社大学	9月23日: 奈良女子大学	3月24日: 首都大学東京 3月17日: 鹿児島市	9月20日: 山形市 9月21日: 盛岡市	9月13日: 甲南大学 9月27日: 崇城大学
公開講座	理事会企画	11月5日: 東京工業大学	11月11日: 東京工業大学		10月25日: 東京大学	11月7日: 東京大学
	大阪支部企画				12月21日: 大阪大学	11月23日: 大阪市立大学
	九州支部企画	7月23日: 九州大学	7月29日: 九州大学			
科学セミナー	8月26・27日: 東京都	8月10・11日: 東京大学	8月24・25日: 電気通信大学	8月23・24日: 東京大学	8月22・23日: 東京大学	
Jrセッション		3月29日: 愛媛大学	3月27日: 首都大学東京	3月24日: 近畿大学	3月28日: 立教大学	
女子高生夏の学校	8月22・23日: 国立女性教育会館					
高校生によるポスターセッション		9月24日: 千葉大学				

4-3. 刊行物関連データ

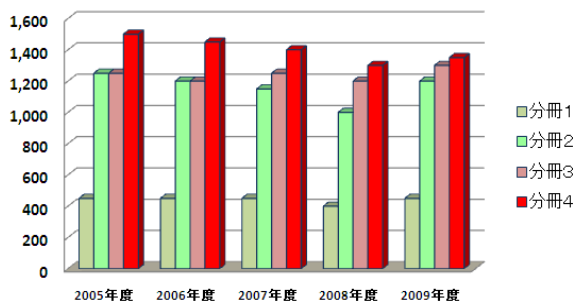
日本物理学会誌
年間刊行部数



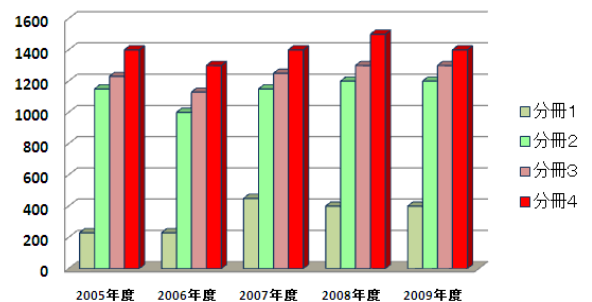
JPSJ
冊子刊行部数・ダウンロード数



分冊別刊行部数推移
(年次大会)

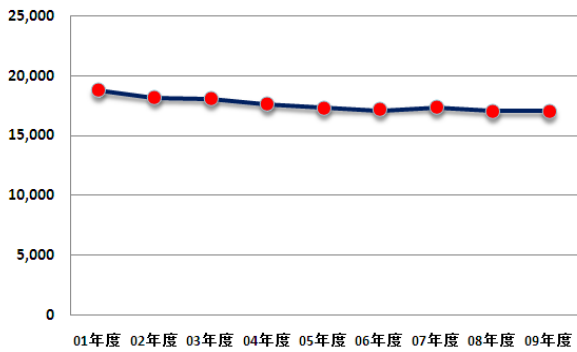


分冊別刊行部数推移
(秋季大会)

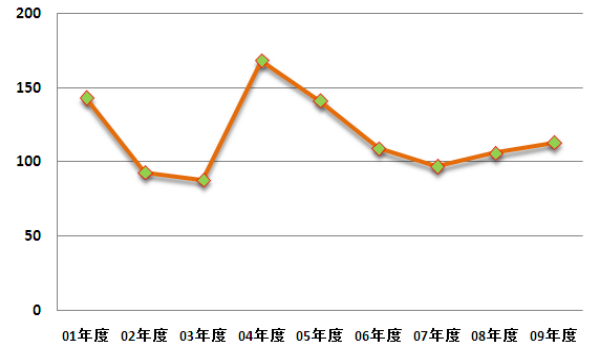


4-4. 会員異動関連データ

正会員数推移



学生会員推移



賛助会員数および口数推移

